

みんなのひろば

上発知の枝垂れ桜の次に訪
れるのは、樹齢約500年の
「発知のヒガノザクラ」。別
名「苗代桜」。稻の苗を作る
頃に開花することから、そう
呼ばれる。まさに神の代だ。

古来、日本人は桜の移り変わりを色や形で表現してき

春の色合せ

頼もしい「制服パンク」

大林 和彦 (榛東村・54)



人生に何が起こうとも、春
は訪れる。桜を見上げれば、
今、生きていることの幸せに
気づく。

毎年会いに行くのは沼田市の「上発知の枝垂れ桜」だ。田園風景の中にたなびく一樹、凛々として立つ。木の下で赤い着物を着たお地蔵様が見守つてくれる。年に一度、これから何度も、この桜と会えるだろう。

満開の桜とタイミングよく
会うのは難しいが、花が咲き
始める頃から散り際の葉桜ま
で、それぞれの美しさに心を
どめる自分でありたい。

昨年、花の歴史や文化を紹介する本「神話と伝説にみる花のシンボル事典」を出版した。古代、桜は春を呼ぶ神の依代。名前の由来にそのことが表れている。

一説に「サ」は穀物神、「ク
ラ」は降り立つ場所。冬が終
わりに近くまで、穀物神が桜
の木を目指して山から里へ下
り、田の神となつて稻に宿る。
草花には命の力を与え、春に
なる。神様と人里とを結ぶ橋
渡し役が桜である。

上発知の枝垂桜の次に訪れるのは、樹齢約500年の「発知のヒガシザクラ」。別名「苗代桜」。稲の苗を作る頃に開花することから、そう呼ばれる。まさに神の代だ。

古来、日本人は桜の移り変わりを色や形で表現してき

文書家

前橋市日吉町

子江えり梨原すぎはら

桜の美しさを暮らしに

デザイン化した
美意識を日常
れてみたい。
様のハンカチ

【略歴】文筆家。広島の被爆樹を取材し、関係者の証言とともに紹介する本「被爆樹巡礼」を出版。2017年、前橋市に転居。広島県府中市出身。武蔵野女子大卒。

えが難しい家を想定、社畜り添つ姿勢を用することで話題になつた。任意購入のセータなどを加えて8万円以上

1 נְבָנִים

柳川毛上

豪集面

ホームページでも見られます。
アドレスは <http://www.jomoo-news.co.jp/>

「森友證
却に閣
文書改
財務省
佐川宣奉

豪集面